

<奨学金給付型大学公式派遣プログラム>
2026年度海外留学支援制度（協定派遣（SV））プログラム モンゴル・国立教育大学
募集要項（募集期間延長）

1. 目的

本学と学術交流協定を締結しているモンゴル国立教育大学はモンゴルにおいて「教員養成」分野で主導的な立場の大学である。本プログラムは、文理を問わず、科学・ものづくり教育活動に関心を持ち、将来教員等となることを目指す本学学生をモンゴルに派遣し、海外における学校教育の現状を理解するとともに、学生間の交流を行い、本学で実施している「科学・ものづくりフェスタ」と同様な科学イベントをモンゴルで開催することを主な目的としている。あわせて、現地校（小・中・高等学校等）訪問、博物館見学、乗馬体験、ゲル（移動式住居）宿泊、満天の星空観察、大草原散策など、日本では体験することができない貴重な体験をすることもできる。

将来教員等となる学生にとって、学生のうちに、一度でも海外を訪れ、諸外国（特に発展途上国）の現状を肌で感じ、他国の学生とともに現地の子どもたちとふれあうことは重要であり、将来、外国人児童生徒の指導においても役立つ貴重な経験となる。本プログラムは、滞在中に学生が科学・ものづくり教育に関して、互いの有する情報を出し合い、「イベント開催」という大きな目標に向かう協働的な活動である。また、モンゴルにはオーダムモンゴル一環教育学校をはじめとして、広い意味での日本型教育を導入している学校も多い。滞在の後半では、現地の教職員からサポートを受けながら、これらの学校や現地の公立学校、モンゴル国立教育大学、及び附属学校等における日本語指導、学習補助（学習指導体験・交流）も計画している。さらに、渡航前後で遠隔システム等を活用して、交流を継続させ、海外派遣の成果を実りあるものとする。

2. プログラム内容

(1)期間

2026年9月3日（木）～ 18日（金）（16日間）

全行程、本学教員が同行します。

諸事情（航空券、ホテルの価格等）により前後数日の範囲で日程変更の可能性がありますのであらかじめご了承ください。

(2)内容

- ①事前指導（海外渡航に関する諸注意 交流の意義、目的の確認等）
- ②事前準備（簡単なモンゴル語、モンゴルの教育・文化に関する学習、現地で諸活動の準備等）
- ③イベント企画・実施（現地学生と協働してのイベント開催準備・実施）等
- ④授業視察・交流（現地校における授業視察、児童・生徒との交流等）
- ⑤学習指導補助（現地校における日本語指導の視察・補助等）
- ⑥歴史・文化・自然体験（博物館見学、乗馬体験、ゲル泊、満天の星空観察、草原・砂漠散策等）
- ⑦事後指導（反省会、報告書作成等）

(3)主な使用言語

日本語（一部英語）

3. 募集人数

若干名

4. 募集対象者

本プログラムへの参加を希望し、以下の要件を満たす者とする。

- (1)日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者
(パスポートを所持しない場合は参加が確定してから速やかに取得してください)
- (2)本学に在籍する学部1～4年生、大学院1、2年生で心身ともに健康で海外滞在に支障がない者
※学部3年生及び教職大学院小免取得コース在籍者のうち、秋に実習を行う者は参加できません。
- (3)本プログラムの事前・事後指導に必ず参加できる者
- (4)本プログラム終了後、報告書等の作成等に必ず協力できる者
- (5) 学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、前年度の成績評価係数が3.00満点で2.30以上であること（大学院1年生の場合は、出身大学の成績から算出）。
※学部1年生の場合は高校の成績で算出すること。
※① [成績評価係数の算出方法] をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第3位を四捨五入して算出する。
② 成績評価係数が2.00以上2.30未満の場合は事前に国際交流センターに相談すること。
- (6) 申込前に大学の教務企画課、キャリア支援課及び学内関連部署に正規授業、大学の体験活動、教育実習等の実施スケジュールを確認し、全行程に支障なく参加できる者
- (7) 参加確定後に参加を辞退しキャンセル料が発生した場合、その相当額を負担できる者
- (8) 別紙1「大学公式海外短期派遣プログラム参加決定にかかる確認書」の内容に同意できる者

5. 費用

渡航費・滞在費・現地活動費等：約24万円～28万円程度（パスポート取得費別途）

（大学契約の海外旅行傷害保険料（約1万程度）を含む）

なお、奨学金または旅費支援として、9万円を支給する（ただし、帰国後の支払いとなる）。

※旅行代金支払い時の為替相場の状況により金額に変更が生じる可能性があります。ご了承下さい。

6. 応募締切

2026年6月12日（金）17:00

7. 応募手続

本プログラムへの参加を希望する者は、以下のサイトからお申込みください。

注： 1) 大学の auecc.aichi-edu.ac.jp アカウントのサインインが必要です。

2) 成績証明書、パスポート（すでに所持する者）と語学資格の証明書等を事前にご用意ください。

（用意できる方のみで結構です）

<https://forms.cloud.microsoft/r/xUTf4mFbvK>



8. 選考方法

書類選考（必要に応じて面接を実施する場合がある）

9. 申込書類提出先・問合せ先

国際交流センター（教育交流館 1 階）

T E L : 0566-26-2179

E-mail : kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

【成績評価係数の算出方法】

成績評価	S	A	B	C	D
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)$

前年度の総登録単位数

大学公式海外旅行短期派遣プログラム参加決定にかかる確認書

愛知教育大学（以下、「本学」という）公式海外短期派遣（以下、「SV」という）プログラムでの活動を行うにあたり、下記事項をすべて承諾または遵守することを誓約いたします。確認後、□にチェックを入れてください。

記

【SVプログラム 事前準備】

- 申込前に本学の教務企画課、キャリア支援課及び学内関連部署に、正規授業、大学の体験活動、教育実習等の実施スケジュールを確認し、支障なく参加できること。
- 定められた注意事項やルールを順守すること。
- 本プログラムの事前・事後指導、事前準備に参加すること。
- 本学より求められた必要な書類を期日までに提出すること。
- 費用の支払いを期日までにすること（決定後のキャンセルはキャンセル料が発生する場合があります）。
- 保護者の同意を得ていること。（渡航の可否含む）
- 本学で指定された海外旅行傷害保険に加入すること。
- 持病、既往症がある方は主治医から活動参加の承諾を得ていること。
必要に応じて、医師の診断書を活動先に持参すること。
- 渡航先によっては、新型コロナウイルス等、感染症のワクチン接種が渡航条件となる場合があることを理解し、以下の点を了承できること。
 - ・渡航先の入国時（と入国後の活動にかかわる）ガイドラインにより必要とされる場合は接種できること。
- 出発前の体調不良等によるキャンセル費用は自己負担になるため、健康管理に留意すること。
- 渡航について必要な諸手続きや緊急時の対応のため、本学に届け出た学生本人及び保護者・保証人の個人情報について、必要に応じて、本学、協定校、旅行会社、保険会社、関係省庁及び在外公館が共有、利用することについて同意すること。

【SVプログラム 活動中】

- 本学の学生として自覚を持ち責任のある行動をすること。
- 活動中に事故、事件に遭遇する可能性があることを認識し、滞在国の法令や引率教員の指示を守り、迷惑行為や事故を起こさないよう最大限の努力をすること。
- 滞在国の治安や感染症の状況によって、体験スケジュール等変更の場合があることを理解し、その場合は活動の中止判断を含め、本学及び協定校の指示に従うこと。
- 学生自身の故意や過失により活動中に学生が被る身体的、物的損害、損失に対して、及び学生が他者に対して与えた身体的、物的損害、損失に対して、本学及び協定校が賠償その他の責任を負うべきではないことに同意すること。
- 航空機事故等、不足の事態や不可抗力の事故についても本学がその責任を負うべきではないことに同意すること。

以上